



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファインデックス
コード番号 3649 URL <https://findex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 相原 輝夫
問合せ先責任者 (役職名) 財務IR担当 執行役員 (氏名) 村上 貴史 TEL 03 (6271) 8958
半期報告書提出予定日 2024年8月13日 配当支払開始予定日 2024年9月12日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	3,205	42.5	940	136.7	945	128.1	701	147.0
2023年12月期中間期	2,249	0.7	397	△12.8	414	△13.9	283	△11.3

(注) 包括利益 2024年12月期中間期 714百万円 (148.8%) 2023年12月期中間期 287百万円 (△10.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2024年12月期中間期	27.34	円 銭 —
2023年12月期中間期	11.08	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2024年12月期中間期	百万円 6,414	百万円 5,345	% 83.2	円 208.03
2023年12月期	5,934	4,845	81.5	188.67

(参考) 自己資本 2024年12月期中間期 5,339百万円 2023年12月期 4,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 4.00	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 13.00
2024年12月期	—	7.00			
2024年12月期（予想）			—	8.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,782	11.4	1,574	5.2	1,591	4.2	1,097	3.6	42.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 一、除外 一社 (社名) 一
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期中間期	26,608,800株	2023年12月期	26,608,800株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	943,933株	2023年12月期	962,288株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2024年12月期中間期	25,654,807株	2023年12月期中間期	25,628,570株

(注) 期末自己株式数には、日本カストディ銀行 (信託E口) が保有する当社株式 (2024年12月期中間期 146,900株、2023年12月期 154,400株) が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております (2024年12月期中間期 150,877株、2023年12月期中間期 159,065株)。

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
3. 補足情報	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、企業理念である「価値ある技術創造で社会を豊かにする」を実現するために、医療用のソフトウェアや医療機器、行政組織のDXを推進するソリューションを中心とした製品・サービスを開発・提供しております。「新しい発想・技術の探求」を基に「モノ創りの喜びを感じられる研究開発」を推進し、「お客様の期待を上回り、社会の発展に貢献する製品」を提供することを、経営の基本方針として定めております。

当中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)の経営成績は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減額	増減率	通期業績予想 達成率
売上高	2,249,242	3,205,521	956,279	42.5%	55.4%
営業利益	397,300	940,372	543,072	136.7%	59.7%
経常利益	414,372	945,376	531,004	128.1%	59.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	283,881	701,324	417,443	147.0%	63.9%

当中間連結会計期間の経営成績は、売上高3,205,521千円(前年同期比42.5%増)、営業利益940,372千円(同136.7%増)、経常利益945,376千円(同128.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益701,324千円(同147.0%増)となりました。通期業績予想に対しての達成率は、売上高が55.4%、営業利益が59.7%、経常利益が59.4%、親会社株主に帰属する中間純利益が63.9%となりました。業況は概ね良好であり、通期予想の達成に向け計画通りに推移しております。医療ビジネス及び公共ビジネスが好調であったことから、当中間連結会計期間は過去最高の売上額・利益額を達成いたしました。

当中間連結会計期間のセグメント別(連結)の経営成績は、以下のとおりです。

《医療ビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	2,152,769	3,038,515	885,746	41.1%
営業利益	469,075	976,309	507,233	108.1%

医療ビジネスセグメントの主力製品は、医療機関のDXを支援する画像ファイリングシステム「Claiο」や診療記事記載システム「C-Note」、文書作成システム「DocuMaker」です。従来のオンプレミス型製品に加え、近年はクラウドサービスの拡充も図っており、2024年5月には専門病院・診療所を対象とした診断書等文書作成サービス「DocuMaker Cloud」を発売いたしました。

クラウドソリューションと医療AI技術の提供を主業とする子会社のフィッティングクラウド株式会社は、生成AIを活用し医師業務の省力化を図るソリューション「CocktailAI」をリリースいたしました。また、日本医療情報学会春季学術大会にて同製品を中心に展示を行い、多くの医療機関の皆様より高い評価を頂きました。

当中間連結会計期間では病院案件30件、診療所案件64件の新規導入・追加導入及びシステム更新を実施しました。保守サービスやコンサルティングサービスも順調でした。結果、当セグメントの経営成績は、売上高3,038,515千円(前年同期比41.1%増)、営業利益976,309千円(同108.1%増)となりました。昇給や人員増に伴う人件費の上昇などがありましたが、大型案件の貢献などによる増収効果でコスト増を吸収することができました。

《公共ビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	57,018	143,967	86,948	152.5%
営業利益又は営業損失(△)	△11,458	48,942	60,400	-

公共ビジネスセグメントの主力製品は、公共セクターのDXを支援する公文書管理・電子決裁システム「DocuMaker Office」です。

当中間連結会計期間においては、自治体向けパッケージが11件、医療機関向けパッケージが4件稼働しました。当セグメントの経営成績は、売上高143,967千円(前年同期比152.5%増)、営業利益48,942千円(前年同期は営業損失11,458千円)となりました。導入ユーザー数の増加に伴い、月額利用料収入が安定的に推移し、増収増益となりました。自治体向けパッケージについては、これまでに稼働した県庁などの実績が好材料となり、当中間期には新規大規模自治体の1案件、既存大規模自治体への追加導入1件を受注しました。また医療機関のバックオフィス業務に特化したパッケージについては、当社医療システムを利用中の大規模・中規模病院をメインターゲットに、拡販を進めております。

当セグメントは、今後も既存ユーザー数と導入システム数が増えると同時に、毎月の利用料の積み重ねにより利益が増加する見込みです。サービス開始以来の解約数は0件であり、順調に顧客基盤を築いております。

《ヘルステックビジネス》

(単位：千円)

	2023年12月期 中間期	2024年12月期 中間期	増減額	増減率
売上高	39,453	23,038	△16,415	△41.6%
営業損失(△)	△60,316	△84,879	△24,562	-

ヘルステックビジネスセグメントの主力製品は、視線分析型視野計「GAP」(注1)及び「GAP-screener」(注2)です。

「GAP」及び「GAP-screener」は、元来の検査手法とは全く異なるアプローチを用いて視野を測定することで可用性を高めた、安価で画期的なウェアラブルデバイスであり、初期の自覚症状に乏しい緑内障などの網膜疾患の早期発見率の向上に寄与します。本製品はこれまで検査の際に必須であった暗所の確保を不要とし、検査時間の短縮や患者の負担軽減を実現しました。更に、健診施設での利用を通じて網膜疾患初期の視野データを取得・分析し、それらを国内外の研究開発機関と共有することで、製薬や生命保険領域など様々なフィールドでの技術・サービス革新への寄与が期待されます。

当セグメントにおける当中間連結会計期間の経営成績は、売上高23,038千円(前年同期比41.6%減)、営業損失84,879千円(前年同期は営業損失60,316千円)となりました。減収減益の主な要因は、前年同期比での出荷台数の減少と、増員や給与の引き上げに伴う人件費の増加です。

当製品の国内における当中間連結会計期間の販売台数は7台となりました。全国の眼科病院・クリニックへ向けには各地の眼科医療機器販売代理店を通じて「GAP」を販売するとともに、健診施設へ向けには代理店を通じて「GAP-screener」を販売しております。2024年5月には米国眼科学会の学術誌「Ophthalmology Glaucoma」に当製品の性能に関する論文が掲載され、視野検査機器としての有用性や検査の正確性が改めて評価されました。

(注1) GAP：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000002

(注2) GAP-screener：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000003

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：千円)

	2023年12月期	2024年12月期 中間期	増減額
資産合計	5,934,285	6,414,161	479,876
負債合計	1,088,925	1,068,854	△20,070
純資産合計	4,845,360	5,345,307	499,946

当中間連結会計期間末の総資産は、6,414,161千円となり、前連結会計年度末と比較して479,876千円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加1,742,297千円に対する受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,188,681千円を主な要因とする流動資産の増加461,735千円によるものであります。

負債は、1,068,854千円となり、前連結会計年度末と比較して20,070千円減少しました。これは主に、固定負債の減少45,109千円に対する流動負債の増加25,038千円によるものであります。

純資産は、5,345,307千円となり、前連結会計年度末と比較して499,946千円増加しました。これは、主に利益剰余金の増加による株主資本の増加486,896千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の中間連結会計期間(2024年1月1日～2024年6月30日)の連結業績予想を、当中間連結会計期間での業績進捗などを踏まえ上方修正いたしました。詳細につきましては、2024年7月26日に公表しました「2024年12月期 第2四半期(累計)連結業績予想及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、通期の連結業績予想につきましては期初より変更ありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,693,160	4,435,457
受取手形、売掛金及び契約資産	1,924,104	735,423
商品及び製品	216,844	123,877
仕掛品	3,967	1,751
原材料及び貯蔵品	118,376	116,589
その他	50,502	55,590
流動資産合計	5,006,955	5,468,690
固定資産		
有形固定資産	89,255	89,423
無形固定資産		
ソフトウェア	290,050	295,691
その他	344	344
無形固定資産合計	290,394	296,035
投資その他の資産	547,680	560,011
固定資産合計	927,330	945,471
資産合計	5,934,285	6,414,161
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,379	11,038
未払金	99,701	90,896
未払法人税等	331,241	306,810
その他	302,524	389,140
流動負債合計	772,846	797,885
固定負債		
株式給付引当金	233,125	229,219
その他	82,952	41,749
固定負債合計	316,078	270,968
負債合計	1,088,925	1,068,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,259	254,259
資本剰余金	224,259	227,222
利益剰余金	5,157,662	5,626,778
自己株式	△791,956	△777,139
株主資本合計	4,844,223	5,331,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,386	7,957
その他の包括利益累計額合計	△5,386	7,957
非支配株主持分	6,522	6,228
純資産合計	4,845,360	5,345,307
負債純資産合計	5,934,285	6,414,161

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,249,242	3,205,521
売上原価	968,830	1,282,344
売上総利益	1,280,411	1,923,176
販売費及び一般管理費	883,111	982,804
営業利益	397,300	940,372
営業外収益		
受取利息	34	39
為替差益	12,280	—
補助金収入	2,814	3,114
受取ロイヤリティー	1,660	1,660
その他	281	189
営業外収益合計	17,071	5,003
経常利益	414,372	945,376
特別利益		
受取保険金	19,000	—
特別利益合計	19,000	—
特別損失		
損害賠償金	22,000	—
特別損失合計	22,000	—
税金等調整前中間純利益	411,372	945,376
法人税、住民税及び事業税	118,263	240,237
法人税等調整額	6,016	4,108
法人税等合計	124,279	244,345
中間純利益	287,092	701,030
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	3,210	△293
親会社株主に帰属する中間純利益	283,881	701,324

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	287,092	701,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	13,344
その他の包括利益合計	—	13,344
中間包括利益	287,092	714,374
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	283,881	714,668
非支配株主に係る中間包括利益	3,210	△293

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	411,372	945,376
減価償却費	22,157	19,382
ソフトウェア償却費	103,359	122,349
株式報酬費用	631	2,817
株式給付引当金の増減額(△は減少)	958	1,879
受取利息及び受取配当金	△34	△39
為替差損益(△は益)	△12,280	—
補助金収入	△2,814	△3,114
受取保険金	△19,000	—
損害賠償金	22,000	—
売上債権の増減額(△は増加)	605,489	1,188,681
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,585	96,969
前払費用の増減額(△は増加)	△7,239	△12,824
未収入金の増減額(△は増加)	7,850	6,032
仕入債務の増減額(△は減少)	△62,569	△28,341
未払金の増減額(△は減少)	△49,140	△6,335
未払費用の増減額(△は減少)	△6,899	9,425
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,454	△17,584
その他	29,908	64,963
小計	1,042,879	2,389,638
利息及び配当金の受取額	12	16
保険金の受取額	19,000	—
損害賠償金の支払額	△22,000	—
法人税等の支払額	△211,581	△263,987
営業活動によるキャッシュ・フロー	828,310	2,125,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△78,000	△90,000
定期預金の払戻による収入	78,000	90,000
有形固定資産の取得による支出	△23,715	△19,088
無形固定資産の取得による支出	△109,348	△128,887
敷金の差入による支出	△17	△2,654
敷金の回収による収入	9	91
その他	△17	△936
投資活動によるキャッシュ・フロー	△133,089	△151,476
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△167,153	△231,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,153	△231,893
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	528,067	1,742,297
現金及び現金同等物の期首残高	2,287,747	2,563,160
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,815,814	4,305,457

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	2,152,769	57,018	39,453	2,249,242	2,249,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,152,769	57,018	39,453	2,249,242	2,249,242
セグメント利益 又は損失(△)	469,075	△11,458	△60,316	397,300	397,300

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				中間連結損益 計算書計上額 (注)
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステック ビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,038,515	143,967	23,038	3,205,521	3,205,521
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,038,515	143,967	23,038	3,205,521	3,205,521
セグメント利益 又は損失(△)	976,309	48,942	△84,879	940,372	940,372

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(株式給付信託(J-ESOP)における会計処理方法)

当社は、2015年10月29日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して市場から購入した自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議しております。

この導入に伴い、2015年11月13日から2015年11月26日の間に資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)

(現:株式会社日本カストディ銀行(信託E口))が当社株式194,200株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として連結貸借対照表上に計上する総額法を適用しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自己株式は、中間連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。前連結会計年度末における計上額は119,108千円、株式数は154,400株、当中間連結会計期間末における計上額は113,323千円、株式数は146,900株であります。

3. 補足情報

(1) 経営管理上重要な指標の推移

	2023年12月期 中間 連結会計期間	2024年12月期 中間 連結会計期間	2023年12月期
売上高 (千円)	2,249,242	3,205,521	5,191,735
営業利益 (千円)	397,300	940,372	1,496,570
経常利益 (千円)	414,372	945,376	1,527,453
中間(当期)純利益 (千円)	287,092	701,030	1,061,431
非支配株主に帰属する中間(当期)純利益 又は中間(当期)純損失 (千円)	3,210	△293	2,291
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (千円)	283,881	701,324	1,059,140
中間包括利益又は包括利益 (千円)	287,092	714,374	1,056,045
純資産 (千円)	4,177,296	5,345,307	4,845,360
総資産 (千円)	4,925,523	6,414,161	5,934,285
1株当たり純資産 (円)	162.61	208.03	188.67
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	11.08	27.34	41.31

(2) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当中間連結会計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	780,398	106.2
公共ビジネス	45,517	148.4
ヘルステックビジネス	80,204	114.5
合計	906,120	108.5

(注) 金額は当期総製造費用によるものであります。

② 受注状況

当中間連結会計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
医療ビジネス	1,467,293	90.7	1,020,893	79.5
公共ビジネス	119,730	83.0	105,556	72.7
ヘルステックビジネス	13,200	81.4	3,000	714.3
合計	1,600,223	90.0	1,129,449	79.0

③ 販売実績

当中間連結会計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
医療ビジネス			
ソフトウェア	1,698,014		
(うち代理店販売額)	(344,433)	53.0	141.2
ハードウェア	328,046		
(うち代理店販売額)	(4,693)	10.2	211.6
サポート	779,482		
(うち代理店販売額)	(239,221)	24.3	104.9
その他	232,972	7.3	444.8
公共ビジネス			
ソフトウェア	128,396		
(うち代理店販売額)	(4,542)	4.0	225.2
ハードウェア	7,668	0.2	-
その他	7,902	0.3	-
ヘルステックビジネス	23,038	0.7	58.4
合計	3,205,521	100.0	142.5